

ガウディ建築やクリエイターらとの共創により、3D プリンティング技術でつくる窓のプロトタイプ 3 種を

10月15日から東京ミッドタウンにて展示

「未来をひらく窓—Gaudí Meets 3D Printing」展示概要を公開

隈研吾や藤本壮介らが“未来の窓”を語るインタビュー映像などを特設サイトで一部先行公開！

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 秀充）は、世界的に著名な建築家アントニ・ガウディの自由形状の窓に着想を得て、世界遺産「カサ・パトリヨ」や「カサ・ミラ」などのガウディ建築の協力のもと、クリエイターや大学、企業と共創し、自然環境と呼応する様々な機能や造形を持つ、最新 3D プリンティング技術でつくる新しい窓のプロトタイプデザインを2021年10月15日（金）から11月3日（水・祝）まで、東京ミッドタウンにて一般展示します（※）。



本展では、複数の3D技術を用いて共創した、光をテーマにした「太陽と月の窓」、風をテーマにした「風が巡る窓」、音をテーマにした「音の窓」の3種類の窓のプロトタイプデザインや、実物が3mを超える特徴的な「カサ・パトリヨ」の窓の3Dスキャンによる縮小再現などを展示し、未来の窓・開口部の提案を行います。そのほか、隈研吾氏、藤本壮介氏、クライン ダイサム アーキテクト、大西麻貴氏（o+h）、秋吉浩気氏（VUILD）が未来の窓やそれぞれのガウディ観を語る建築家インタビュー映像や、東京2020オリンピック表彰台3Dプリント設計統括者・田中浩也氏（慶應義塾大学教授）が解説する3Dプリンティング技術の全体像やこれからの可能性について紹介します。

展示に先立ち、9月14日（火）より特設サイトとInstagramでは、3Dプリンティング技術についての田中氏の解説や、著名建築家が“未来の窓”を語るインタビュー映像に加え、本展示にまつわる窓コンテンツを先行公開しています。著名建築家によるインタビュー映像は、特設サイトでしか見ることのできない特別バージョンとなります。ぜひフォローやいいね、ページシェアやハッシュタグ「#未来をひらく窓」「#windowonthefuture」でご参加ください。

特設サイト：<https://www.ykkap.co.jp/consumer/satellite/sp/window-future/>

特設 Instagram：[@windowonthefuture](https://www.instagram.com/windowonthefuture)

※本展は、最先端3Dプリンティング技術を用いた窓の研究開発に向けた産学共創プロジェクトの一環として取り組むものです。

【展示概要】

1. ガウディの窓に着想を得て、3Dプリンティング技術でつくる未来の窓のプロトタイプデザインを3種展示
2. YKK APによるガウディの窓研究を一部公開。世界遺産建築「カサ・パトリヨ」の窓を3D技術で縮小再現
3. ガウディの窓と3Dプリンティング技術についてわかりやすく紹介
4. 著名建築家が“未来の窓”を語るインタビューや、共創プロセス映像などを公開

【展示概要詳細】

ガウディの窓に着想を得て、3D プリンティング技術でつくる未来窓のプロトタイプデザインを 3 種展示 人と自然が呼応する自由形状の“未来窓”

世界遺産に登録されたガウディ建築「カサ・バトリヨ」や「カサ・ミラ」などによる全面協力のもと、YKK AP とガウディ研究者の東京工芸大学准教授・山村健氏が取り組んできたガウディの窓・開口部の研究を出発点に、本展クリエイティブディレクターの鈴木啓太氏は、ガウディの建築思想や多様な素材・造形の窓に着想を得て、自然の光、風、音という要素を導き出しました。本展では、複数の最先端 3D プリンティング技術を用いて、素材、構造、機能、意匠の面から検討を続け、光をテーマにした「太陽と月の窓」、風をテーマにした「風が巡る窓」、音をテーマにした「音の窓」という 3 種類の窓のプロトタイプデザインを提案。3D 技術を駆使し鈴木氏がデザインした自由形状の美しい窓の数々が東京ミッドタウンに一堂に会します。



YKK AP によるガウディの窓研究を一部公開。世界遺産建築「カサ・バトリヨ」の窓を 3D 技術で縮小再現 3D 技術活用により建築の保存修復・再生の未来を提案

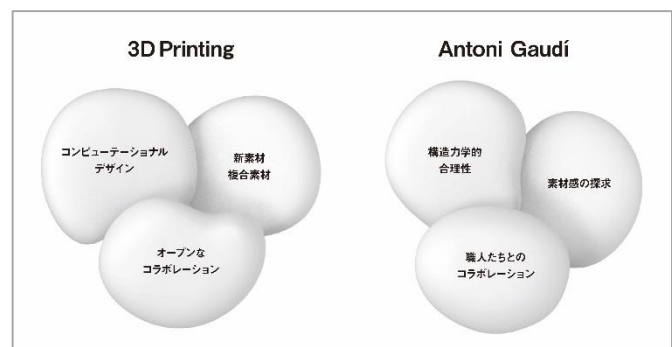
ガウディ建築群の特別協力のもと、YKK AP が山村氏と取り組んできたガウディの窓・開口部の研究の一部を公開します。特に、最新 3D 技術を用いた、実物が 3m を超える「カサ・バトリヨ」の特徴的な窓の縮小再現は必見です。デジタル技術の活用により、国やジャンルを超えて、YKK AP、カサ・バトリヨ、東京工芸大学山村健研究室、早稲田大学石田航星研究室、前田建設工業 ICI 総合センター、PRODUCT DESIGN CENTER のコラボレーションによる産学共創プロジェクトとして実現します。



ガウディの窓と 3D プリンティング技術についてわかりやすく紹介

東京 2020 オリンピック表彰台 3D プリント設計統括者・田中浩也（慶応義塾大学教授）が解説する 3D プリンティング技術の全体像や本展の位置づけを紹介 <特設サイトで先行公開中>

3D プリンティングの概要、歴史、建築との関係性など、3D プリンティングを取り巻く技術の全体像や本展の位置づけを解説するのは、東京 2020 オリンピック表彰台 3D プリント設計統括者として知られる慶応義塾大学教授・田中浩也氏。3D プリンティング技術の活用の可能性とガウディのものづくり精神の類似性にも触れながら、3D プリンティングについて初めて知る人にもわかりやすく紹介します。



著名建築家が“未来の窓”を語るインタビューや、共創プロセス映像などを公開

隈研吾、藤本壮介、クライン ダイサム アーキテツツ、秋吉浩気（VUILD）、大西麻貴（o+h）が
“語り、描く”それぞれの考える“未来の窓” <特設サイトで先行公開中>

3D プリンティング技術の活用で、素材、構造、機能、デザインなど、窓がより自由につくれる未来がきたらどんな窓をデザインするか、最前線で活躍する建築家とともに“未来の窓”を考えるため、隈研吾氏、藤本壮介氏、クライン ダイサム アーキテツツ、大西麻貴氏、秋吉浩気氏に、ガウディ観や未来の窓・開口部についてのインタビューを実施。それぞれが考える“未来の窓”を描く貴重なフリードローイング映像も公開します。



また、本展の共創プロセスをクリエイティブディレクター鈴木氏が紹介する映像も 10 月 15 日より公開予定です。

■「未来をひらく窓—Gaudí Meets 3D Printing」展示概要

- [展 示 名] 未来をひらく窓—Gaudí Meets 3D Printing
- [会 期] 2021 年 10 月 15 日（金）～11 月 3 日（水・祝）20 日間
- [時 間] 11:00～21:00 （※会場の休業・営業時間短縮時はそれに準ずる）
- [会 場] 東京ミッドタウン ガレリア B1 アトリウム（東京・六本木）
- [入 場 料] 無料（予約不要）
- [主催・企画] YKK AP 株式会社
- [特別協力] カサ・パトリヨ、カサ・ミラ、カサ・ピセンス、グエル邸、
グエル公園—バルセロナ市・バルセロナ市歴史博物館
- [後 援] スペイン大使館
- [協 賛] 前田建設工業株式会社 ICI 総合センター、MOLp® by 三井化学、
AGC セラミックス株式会社
- [特設サイト] <https://www.ykkap.co.jp/consumer/satellite/sp/window-future/>
- [特設 Instagram] [@windowonthefuture](https://www.instagram.com/windowonthefuture)
- [同時出展] Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2021 / DESIGNART TOKYO 2021
クリエイティブディレクション : 鈴木啓太（PRODUCT DESIGN CENTER）
学術監修 : 山村健（東京工芸大学准教授）
学術協力 : 東京工芸大学山村健研究室、早稲田大学石田航星研究室、
田中浩也（慶應義義塾大学教授）
プロダクトデザイン : PRODUCT DESIGN CENTER
グラフィックデザイン : 村上雅士（emuni）
空間デザイン : 山村健 + ナタリア・サンツ・ラヴィーニャ（YSLA Architects）
構造設計（風が巡る窓） : Nature Architects 株式会社
企画アドバイス : ダニエル・ギラルト・ミラクル

＜参考資料＞ 「未来をひらく窓—Gaudí Meets 3D Printing」の取り組み

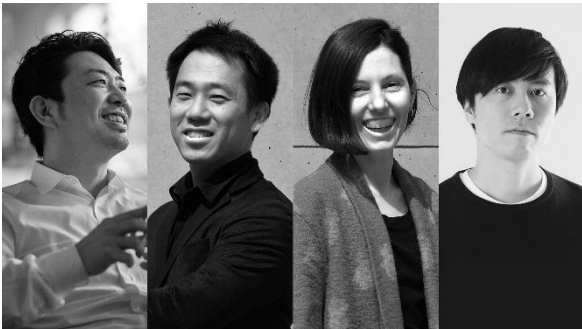
YKK AP が最新 3D プリンティング技術を用いて複数企業やクリエイターとの共創で未来の窓・開口部を提案

近代以降、工業化により窓は規格化され、大量生産、高性能・高機能化が進むなか、構造から独立した開放的な開口部や超高層カーテンウォールの普及とともに、住環境やオフィス環境は飛躍的に向上しました。一方、近代以前の職人の手仕事でつくられていた窓が持つ自由で複雑な形状は一般に見られなくなり、射出や押出成型による直線形状の窓が建築空間の境界を多く形づくるようになりました。YKK AP は「Architectural Products で社会を幸せにする



会社。」というパーパスに基づき、窓が建築や人々の生活をより自由に、より幸せにすることを目指し、日々窓を考えています。本展「未来をひらく窓—Gaudí Meets 3D Printing」は、自然と人々の暮らしの間で進化を遂げてきた窓自身がさらなる未来を切りひらいていく様を表現すると同時に、YKK グループ環境ビジョン 2050「人と自然の未来をひらく」や、ガウディの「建築と自然の融合」というひらかれた建築思想にも共鳴しています。また、「ガウディが現代の最先端 3D プリンティング技術に出逢ったら」という視点で、過去の良質なデザインを未来に生かしていく取り組みでもあります。

**クリエイティブディレクターは注目の若手デザイナー鈴木啓太（PRODUCT DESIGN CENTER）、
学術監修にガウディ研究者・山村健（東京工芸大学准教授）が参加。
グラフィックデザインは村上雅士（emuni）、空間デザインは YSLA Architects が担当。**



本プロジェクトのクリエイティブディレクターには、日用品から鉄道車両まで幅広く手掛けるクリエイティブスタジオ PRODUCT DESIGN CENTER の鈴木啓太氏を迎え、企画からプロダクトデザインまで YKK AP との共創により、誰も見たことのない全く新しい窓のコンセプトを提案。国や業種のジャンルを超え、複数企業やクリエイター、専門家たちのコラボレーションを実現します。本展では、ガウディ研究者の山村健准教授が学術的観点から一貫してプロジェクトに参加。グラフィックデザインは「キリンレモン」の

リブランディングや「東京芸術祭」のアートディレクションで知られる emuni の村上雅士氏、空間デザインは日西建築家ユニット YSLA Architects が担当。本展は、毎年恒例の秋のデザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2021」と「DESIGNART TOKYO 2021」同時出展により、今年注目を集める展示の一つとなります。